

■業務概要・技術的特徴

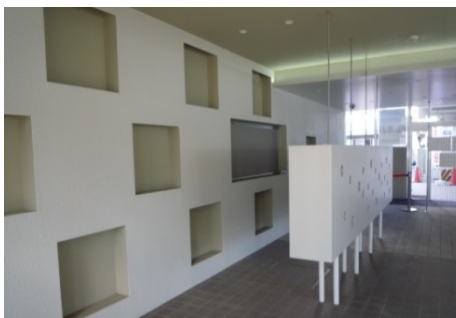
西武池袋線ひばりが丘駅及び西武新宿線田無駅の中間に位置するひばりが丘団地は、都市より20Km圏内に位置し、昭和30年代に管理開始した郊外型の大規模団地である。2000年代より団地再生事業として建替え計画が進められ、当該敷地での建替え後は、1期工事を残すところとなった。

当該敷地はひばりが丘駅よりアクセスした時、まず目に入る立地であり、団地全体を印象付けるためシンボル性の高い計画を求められた。

■計画の特徴

団地全体の導入部における団地の顔作り及び建替住宅の基本実施設計である。街区型コ字配置とし、沿道性を意識し、デザイン性の高い住宅を検討した。住棟に囲まれた中庭空間は、団地全体でのテーマでもある環境共生を意識した計画とした。

住宅の企画では、南北軸となる沿道住宅は、間口が広く、接地性の高い住宅を計画した。接地性を高めるため沿道及び中庭からダイレクトアクセスできる住宅を配置した。全体として通風採光を意識したプランとするなど、建設コストや住宅重要動向に配慮しながら場所性に合った住宅企画を心がけた。



■計画概要

所在地	西東京市ひばりが丘 3丁目1616番1
用途	共同住宅
階数	3~7階
戸数	125戸
敷地面積	4,779.07 m ²
建築面積	1,300.05 m ²
述べ床面積	5,558.95 m ²
構造	RC造
高さ	20.30 m
建ぺい率	27.21 %
容積率	104.31 %
竣工	H22年1月

